



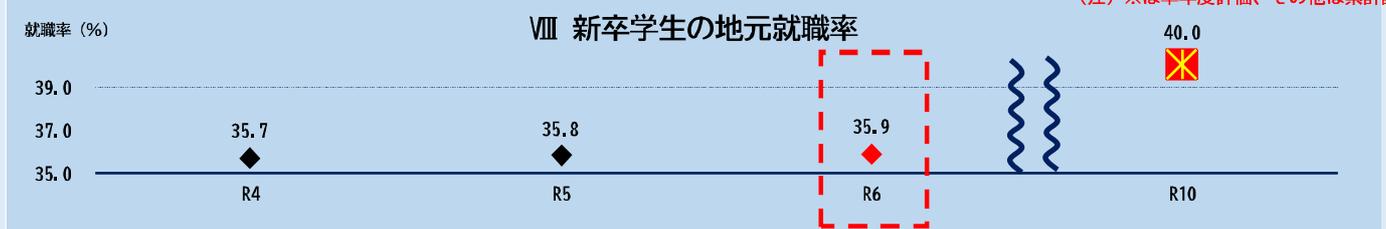
方策4

KPIの達成状況



検証指標	基準（戦略策定時）	実績（最新値）	目標（注）
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備			
VIII 新卒学生の地元就職率	35.7% (R4)	35.9% (R6)	40.0% (R10) ※
IX 就業率（女性・シニア・外国人）	女性 79.8% (R4) シニア 23.4% (R2) 外国人 72.1% (R2)	国のデータ公表に合わせ更新 ・就業構造基本調査（R10年度上期） ・国勢調査（R8年度）	女性 82.0% (R10) ※ シニア 30.0% (R7) ※ 外国人 80.0% (R7) ※

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



令和6年度の主な取組・実績

- 地元企業等の交流を通して、若者のキャリア形成を支援する「北九州ゆめみらいワーク」の開催
- 市内企業と大学生の交流を通し、就職までを一気通貫で支援する「地域の人事部支援事業」の実施
- 新卒学生の地元就職率35.9%（+0.1%）

評価

- KPI達成に向けた伸び率は横ばい

課題

- 地元企業の認知度向上
- 学生、保護者等へ、地元就職の魅力発信
- 中小零細企業の新卒学生への処遇改善（給与、福利厚生）

今後の方向性

- 継続した学生と企業の交流促進
- 中小零細企業への採用活動の支援
- 企業による人的資本経営の推進



北九州ゆめみらいワーク2024

- 高校生や中学生、保護者を対象に、地元企業の仕事内容等を直接聞き、体験する職業体験イベントを開催
 - 出展者 121団体、来場者 10,178人
 - （イベントが）良かったと回答した出展者 96%



地域の人事部

- 企業合同で学生との交流を通じて、人材発掘、育成、就職までを一気通貫で実施
 - 市内企業 21社、学生 80名以上が参加



U・Iターン応援プロジェクト

- U・Iターン希望者と市内企業とのマッチングを支援し、市外からの人材還流及び市内企業の人材不足解消に取り組む
 - 就職決定者数 256人 ※過去最高
 - 求人登録数 2,639件、企業登録数 2,146社

拡充

北九州ゆめみらいワーク2025



- 「仕事」と「学び」をテーマとした体験・交流イベントの開催を通じて、若者のキャリア形成や将来の市内就職につなげる
- 10回目の節目に、キッズニア監修の仕事体験プログラム「Out of KidZania」を同時開催
 - 出展予定団体 150団体、来場者目標 12,000人

新規

企業の人材確保を応援！「奨学金返還の補助制度」開始



- 市内中小企業等の人材確保と定着及び経済的負担軽減を図るため、奨学金返還支援制度を導入した中小企業等に対し、従業員へ支給する手当等に要する経費の一部を補助する新たな制度を開始
 - 採択 10社、交付予定額 450万円

令和6年度の主な取組

- 女性・シニア・外国人の就業率の向上を図るため、交流会やカウンセリング、マッチング等を実施

評価

- 最新のデータが出ていないため、国のデータ公表に合わせて評価実施

今後の方向性

- 各ニーズに応じた施策の実施
- 就業者の定着・育成、企業の多様な人材活用に向けた支援

現在の課題

- 女性：女性の就業率が低い（政令市中13位）
- シニア：シニアの就業率が低い（政令市中18位）
- 外国人：外国人受入れに対する不安の解消、雇用の拡大と受入企業の増加



女性のはたらく応援事業

- 女性の就業促進に向け、多様な働き方の提示や企業との交流、キャリア支援など多方面から働く女性を支援
 - 各セミナー等のべ参加者数 707人

高齢者就業支援センター

- 就業相談やキャリアカウンセリング、能力開発講座を実施するとともに、各種支援機関と連携したトータルサポートの就労支援を実施
 - カウンセリング件数2,596件、就職者1,055人

外国人材就業サポート事業

- 外国人材の雇用を希望する企業に向けた専門相談やセミナー、市内企業での就労を目指す留学生等向けのマッチングを実施
 - 相談件数101件、セミナー参加者171人



新規

女性が輝くリーディングカンパニーへ！

- 女性がいきいきと働き、その意欲や能力を十分に発揮できる職場環境づくりに必要な経費の一部を助成
 - 採択 3社、交付予定額 14,389千円

新規

女性活躍職場の拡大に向けた専門家派遣

- 人手不足や女性採用に課題を持つ市内中小企業に、社会保険労務士や中小企業診断士等の専門家を無料で派遣（最大3回まで）
 - 派遣回数 1社 3回（令和7年10月2日現在）

新規

「みらいのわたし」を応援

- 多様な働き方の提示や女性同士の交流、リスキング講座を通して、女性の自分らしい生き方・働き方の実現に向けた支援を実施
 - 各セミナー等のべ参加者数 580人



新規

女性にコンフォートなまちづくり推進事業

- 令和7年度に女性政策を重点項目に掲げ、「女性にコンフォートなまち」の実現を目指す
- 【Woman'sリアルVOICEプロジェクト】カフェトーク、ラジオ放送、アンケート調査を通じて、女性が日頃感じているモヤモヤや違和感を掘り起こす
- 女性のリアルな声や思いを整理し、「官民政策パッケージ」をまとめ、令和8年度以降の予算・事業に反映



新規

パパ育休第一号サポート奨励金事業

- 初めて育児休業を取得した男性社員が所属する市内の中小企業に対して奨励金を交付（1事業者につき20万円）
- 育休中の男性社員をサポートする同僚への手当や代替社員の雇用などに活用してもらうことで、社員のライフとキャリアを応援する職場づくりの第一歩を応援



「文化・ことばの壁」を超えて外国人材の活躍を！

- ビジネスで用いる日本語やマナーを実践的に学べる研修会を開催 日本企業への適応力を高め、定着率向上へつなげる
- 全2回 参加者 26人

拡充

「ミドル・シニア」と「企業」をマッチング

- 合同会社説明会による企業とのマッチングを支援
- 参加者 226人



新規

「人材」を「人財」に！ 成長のカギは“人”への投資

- 多様な働き方の促進や社員の意欲向上を図り、企業の持続的な成長を支援
- 企業の持続的成長に不可欠な「人材の戦略的活用」をテーマに、定着・育成・多様な人材の活用など、実践的なセミナーを開催
- 全10回 参加者 106社 114人（4回時点）





新規

「北九州リスキングキャンパス」開講

- 令和6年10月、みらいワークス社と、社内人材のリスキングなどの分野で包括連携協定を締結
- ビジネスにDXやAIの活用が必須な時代に、従業員が新しい知識やスキルを身につけ、ふさわしい働き方やキャリアづくりを学ぶ拠点である
「北九州リスキングキャンパス」を令和7年8月開設
- 組織やビジネスのマネジメントスキル、生成AIの活用やマーケティング手法などのプログラムを提供するとともに、本キャンパスで得た学びを実践する研修会や成果発表会などの実施を通じて、従業員の新たなキャリア形成を後押し
- 参加者 61人



方策①

産業基盤の
ポテンシャル開花

方策②

学術研究都市の
知の活用とGX・
グリーン産業の推進

方策③

生産性向上と
新しい価値創造に
SG
に向けたDX推進等

方策④

DE&I推進による
誰もが活躍できる
環境の整備

方策⑤

アテンションを集める
ブランディング

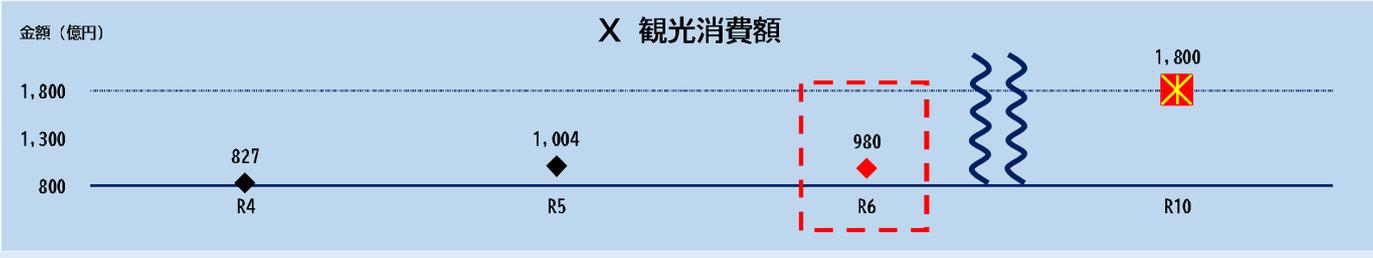
方策⑥

メガリージョンの
構築

方策5 KPIの達成状況

検証指標	基準（戦略策定時）	実績（最新値）	目標（注）
方策⑤アテンションを集めるブランディング			
X 観光消費額・宿泊客数	827億円・173万人（R4）	980億円・189万人（R6）	1,800億円・260万人（R10）※

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



方策5 KPI達成に向けたイメージ（X 観光消費額・宿泊客数）

令和6年度の主な取組・実績

- インバウンド向け消費喚起クーポン事業の実施
- 国際スポーツ大会等の開催支援
- 観光消費額980億円
- 宿泊者数189万人

評価

- 小倉城入場者数は過去最多（再建直後除く）
- 皿倉山ケーブルカー利用者数は過去最高水準
- KPI達成に向け増加基調にあるが、コロナ禍前に回復していない

今後の方向性

- 観光資源の磨き上げによる来訪者の満足度向上
- 新たな観光客獲得に向けたターゲット別の情報発信
- 地の利を生かしたインバウンドの呼び込み

課題

- 宿泊が前提のインバウンド・遠方客、先入観のない若者が取り込めていない
- 旅の主目的となるコンテンツの印象が弱い
- 若者・インバウンド向けの情報発信が弱い



福岡空港・北九州空港から
の誘客・回遊性促進



NEWツーリズム創生事業

- 「祭り」や「コンサート」を新たな観光コンテンツとして磨き上げ、国内外の旅行会社が観光商品を開発するための視察ツアーを実施
- 戸畑祇園山笠、わっしょい百万夏まつり視察ツアー
参加者計 国内外旅行会社 14社、外国人 約17名

インバウンド誘致強化事業

- 北九州空港、福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、消費喚起クーポン事業を実施
特に福岡空港から入国した外国人観光客誘致を促進。
(クーポン配布場所：福岡空港国際観光案内所、博多駅等)

- 利用者数 12,741人
- 利用金額 34,916千円 (※1)
- 経済効果 6.1億円 (※2)

※1 クーポン利用可能店舗 市内観光施設、飲食店 531店舗

※2 利用金額+クーポン以外で利用した平均消費額/人 (R5 アンケートより)



シティプロモーション推進事業

- 「知ってもらう」、「来てもらう」ために、北九州市のポテンシャル、魅力をさらに発信

取組実績

- ①ロケ支援・取材協力件数 40件
- ②PR TIMESでの情報発信件数 53件



国際スポーツ大会等開催事業

- 国際スポーツ大会等の開催支援を行い、大会を活用したインバウンドを促進

主な国際スポーツ大会の実績

- バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会
観客数 84,521人
- 第2回FIGパルクール世界選手権・北九州
観客数 30,000人



新規

若松北海岸の観光開発



- 雄大な自然景観、新鮮な野菜や果物、魚介類に恵まれる若松北海岸エリアを観光地化するため、開発制限を一部緩和し、観光開発を促進
- 国道495号沿線から海側の区域において、**観光関連施設の開発を可能とするプロジェクトを開始**

【対象となる観光関連施設】

- ①地域の食を活用する施設
(レストラン、直売所、体験農園等)
- ②地域の景観を活用する施設
(ホテル、スパ、展望台等)
- ③地域の自然と直接触れ合う施設
(マリンレジャー・スポーツ施設)
- ④地域資源を活用した観光推進に伴う施設
(土産物店、カフェ)

全国初

「すしの都課」新設



- 「美食の街 北九州市」の実現に向けて、すしをフックとした観光客誘致の取組等を実施
- 両首長の SNS でのやり取りがきっかけとなり、富山県知事と「すし会談」を開催
- 富山県・JR西日本とすしをフックとした三者連携協定締結式及び関連イベントを大阪で開催
 - 北九州市の「すし」や「北九州市の美味しい食」を全国にアピール

北九州名物の郷土料理 『ぬか炊き』 を全国区へ！



- 「北九州市の郷土料理『ぬか炊き』の食文化価値の再発見事業」が、文化庁公募の「『食文化ストーリー』創出・発信モデル事業」に2年連続で選定
- 郷土料理としての価値、ブランド化、観光振興の可能性などを議論する有識者会議を開催
 - 「ぬか炊き」の魅力を深掘りし、「北九州に来たら必ず食べる郷土料理」として認知度向上を目指す



福岡空港等からのインバウンド誘致

- コロナ禍以降、急速に回復しているインバウンドを取り込むため、北九州空港の利用促進に加えて、九州・山口エリアの自治体と連携し、福岡空港から入国した外国人観光客の誘致を促進
 - 広域連携事業（計8事業※西のゴールデンルート除く）
 - 連携自治体：福岡県、大分県、山口県、福岡市、熊本市、鹿児島市、別府市など全11自治体
 - 主な事業内容：共同プロモーション、周遊観光ルート造成



西のゴールデンルート

- 欧米豪からの旅行者などをターゲットに位置付け、大阪より西のエリアを対象に広域的な周遊ルート「西のゴールデンルート」として発信し、誘客を促進（18自治体）
- 大阪・関西万博への西のゴールデンルートブースを出展
 - 場所：大阪・関西万博の催事施設「WASSE」
 - 期間：R7年8月27日～8月31日まで（5日間）
 - 結果：5日間計77,868人（1日平均15,573人）
 - 参考：オープニングイベントに武内市長が出席

方策①

産業基盤の
ポテンシャル開花

方策②

学術研究都市の
知の活用とGX・
グリーン産業の推進

方策③

生産性向上と
新しい価値創造に
SG
に向けたDX推進等

方策④

DE&I推進による
誰もが活躍できる
環境の整備

方策⑤

アテンションを集める
ブランディング

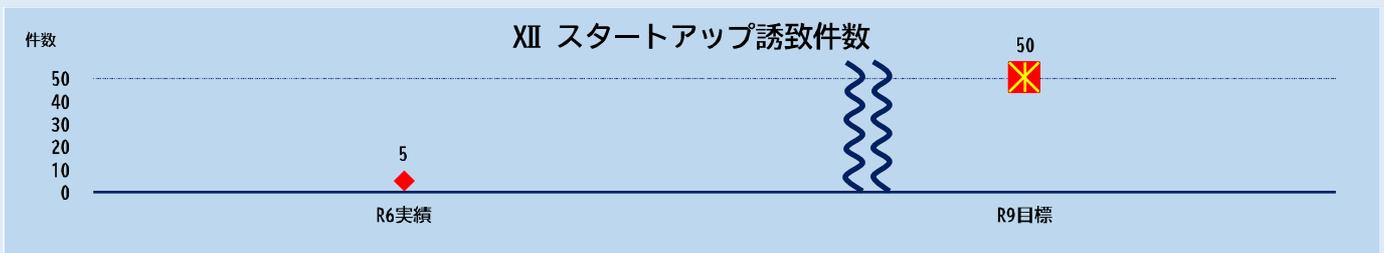
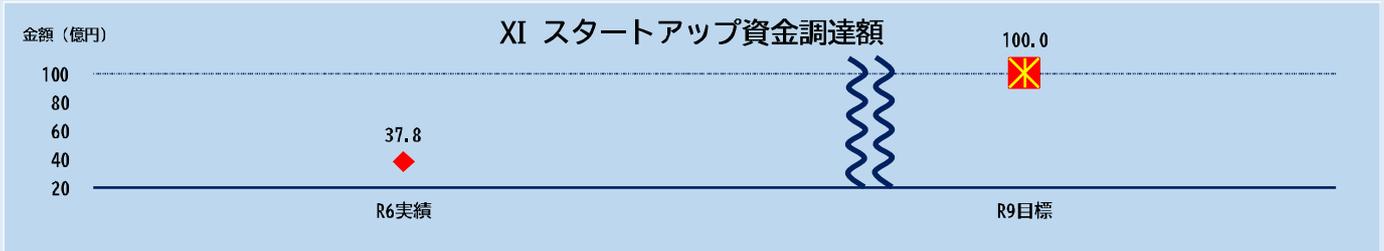
方策⑥

メガリージョンの
構築



検証指標	基準（戦略策定時）	現状（最新値）	目標（注）
方策⑥メガリージョンの構築			
XI スタートアップ資金調達額	—	37.8億円（R6）	100億円（～R9）
XII スタートアップ誘致件数	—	5社（R6）	50社（～R9）

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



令和6年度の主な取組・実績

- COMPASS小倉をはじめとするスタートアップ支援施設の紹介
- 認定ベンチャーキャピタルとスタートアップ企業のマッチング
- 資金調達額37.8億円
- 誘致件数5社

評価

- 資金調達額は過去最高を記録
- KPI達成に向け順調に推移
- 誘致件数は着実に増加

今後の方向性

- COMPASS小倉をはじめとする地域のスタートアップ・エコシステムのプレイヤーと連携して、企業誘致から資金調達支援まで一気通貫で行う体制を整備する

課題

- スタートアップ企業が市内拠点を設置するインセンティブ強化
- ベンチャーキャピタルの集積状況が三大都市圏に比べて低い



スタートアップ都市推進協議会（概要）

- スタートアップ支援に先進的に取り組む自治体で構成
- 12都市が加盟（会長：福岡市）
青森市、富谷市、つくば市、千葉市、品川区、浜松市、高岡市、北九州市、福岡市、別府市、熊本市、鹿児島市

首都圏イベント「JAPAN STARTUP SELECTION」

- 加盟都市が連携し、首都圏でのマッチングイベント「JAPAN STARTUP SELECTION」を開催
- 参加スタートアップ企業31社、イベント参加者約240名
 - 本市参加スタートアップ企業商談件数 33件



分担

北九州空港：早朝・深夜便の運航

- 北九州空港は、九州・中四国で唯一の24時間利用空港
- 福岡空港では、利用時間に制限（7時～22時）
- 北九州空港において早朝・深夜便の運航を促進し、両空港で多様な航空需要を受け止め

【令和6年度の早朝・深夜便（22時～7時）の運航】

- 国内旅客定期便
北九州⇄羽田線 6便/日
（発＝6:10・7:00、着＝22:20・22:50・23:20・23:50）
- 国際旅客チャーター便
23往復（韓国・務安）、10往復（台湾・台北）

補完

北九州空港：ダイバート（代替着陸）の受入れ

- 航空会社、バス・タクシー事業者、宿泊事業者、空港ターミナルビル、旅行会社と連携し、受入体制を整備
- 令和6年度も引き続き、ダイバート受入れを実施

補完

北九州空港：朽網駅への特急停車の実現（R7.4～）

- 広域アクセス強化・朽網駅特急ルートの実現（R6.12）



ファンドへの出資を通じたスタートアップ支援

- 新規事業「スタートアップ成長支援ファンド事業」において、北九州市が出資するファンドを組成・運用するベンチャーキャピタル(無限責任組合員)を公募
- 審査を経て、北九州市発の独立系ベンチャーキャピタル「9Capital合同会社」を採択し、1億円を出資



第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市への選定

- 国が選定した都市を集中支援する「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に、北九州市は、第1期(令和2~6年度)に続き第2期(令和7~11年度)にも2期連続で選定
- 国のバックアップを受けながら、グローバルで活躍するスタートアップ企業を生み出す



JR西日本との連携協定

- コロナ禍を経て、国内・海外ともに観光客数が増加基調にある中、広域からの誘客を促進するために、JR西日本と連携協定を締結

【連携協定概要】

①新幹線を生かした広域誘客

- ・新幹線を活用した「西のゴールデンルート」の推進
- ・福岡空港利用者の北九州市への誘客

②「北九州市ならではの」魅力的なコンテンツの強化・情報発信

- ・すしなど食の魅力の強化とその発信
- ・スポーツイベント・コンサートなど集客力の高いイベントの誘致・開催

③MICE施設を活用した安心安全な旅のための環境整備

- ・鉄道輸送障害等事案における帰宅困難者などのMICE施設の使用



産業振興施策の進捗状況

(方策4～方策6)

質疑応答・意見交換②